

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 令和 5 年 10 月 26 日 (2023.10.26)

【公開番号】 特開 2022-151884 (P2022-151884A)
【公開日】 令和 4 年 10 月 7 日 (2022.10.7)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-185
【出願番号】 特願 2022-114813 (P2022-114813)
【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)
G 1 6 H 50/80 (2018.01)
C 1 2 Q 1/686 (2018.01)

10

【F I】

C 1 2 Q 1/04
G 1 6 H 50/80
C 1 2 Q 1/686 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 10 月 18 日 (2023.10.18)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

施設における滞在者を特定する情報と、前記滞在者が前記施設に滞在した滞在期間とが関連付けて記憶されている滞在者データベースと、

前記滞在者データベースにアクセス可能な管理サーバと
を備えた、感染症検査システムであって、

30

前記管理サーバ上で動作するコンピュータプログラムが、

前記施設から排出された下水から試料を採取した採取期間に関する情報を取得する採取期間取得手段と、

前記試料中における感染性病原体の存在に関する情報である病原体存在情報を取得する病原体存在情報取得手段と、

前記病原体存在情報が前記感染性病原体の感染者の存在を示している場合に、前記滞在者データベースを参照して、前記施設の滞在者のうち滞在期間が前記試料の採取期間と重複する滞在者を特定する情報を前記滞在者データベースから抽出する滞在者情報抽出手段として機能する、感染症検査システム。

【請求項 2】

40

前記試料を特定する情報と前記試料の採取期間に関する情報とを対応付けて記憶する、前記管理サーバがアクセス可能な採取結果データベースと、

前記病原体存在情報と前記試料を特定する情報とを対応付けて記憶する、前記管理サーバがアクセス可能な分析結果データベースとをさらに備え、

前記採取期間取得手段が、前記採取結果データベースから前記採取期間に関する情報を取得し、

前記病原体存在情報取得手段が、前記分析結果データベースから前記病原体存在情報を取得する、請求項 1 に記載の感染症検査システム。

【請求項 3】

前記採取期間取得手段及び前記病原体存在情報取得手段が、インターネット回線を通じ

50

て、前記採取期間に関する情報及び該情報に対応する試料の前記病原体存在情報をそれぞれ所得する、請求項 1 に記載の感染症検査システム。

【請求項 4】

前記コンピュータプログラムが、更に、

前記滞在者情報抽出手段が抽出した情報に基づき、前記滞在期間が前記試料の採取期間と重複する滞在者のリストを作成するリスト作成手段として機能する、請求項 1 に記載の感染症検査システム。

【請求項 5】

前記施設を特定する情報が記憶された、前記管理サーバがアクセス可能な施設データベースをさらに備え、

前記施設を特定する情報が、ログイン ID とパスワードを含み、

前記コンピュータプログラムが、更に、

前記ログイン ID と前記パスワードの入力を受け付ける入力受付手段と、

前記入力受付手段が入力を受け付けたログイン ID とパスワードを、前記施設データベースに記憶されている前記施設を特定する前記情報と照合することによって認証する認証手段として機能し、

前記リスト作成手段が、前記認証手段によって認証されたログイン ID に対応する施設について前記リストを作成するとともに、該リストと前記病原体存在情報を表示部に表示させる、請求項 4 に記載の感染症検査システム。

10

20

30

40

50